

青森県観光物産館空調設備改修工事

設 計 図

図 面 リ ス ト					
(機械設備工事)				(電気設備工事)	
図 面 No.	図 面 名	図 面 No.	図 面 名	図 面 No.	図 面 名
M - 1	改修特記仕様書(1)	M - 8	空調換気設備 11階機械室(2) 平面詳細図	E - 1	特記仕様書
M - 2	改修特記仕様書(2)	M - 9	計装設備 11階平面図・系統図	E - 2	工事区分表
M - 3	取りこわし・特記仕様書	M - 10	厨房設備 10階・11階厨房既存機器配置平面図	E - 3	案内図・配置図
M - 4	案内図・配置図	M - 11	その他設備10階・11階建築工事改修平面図	E - 4	11階動力設備図(改修前・改修後)
M - 5	空調換気設備 機器仕様表				
M - 6	空調換気設備(改修前・改修後)11階平面図				
M - 7	空調換気設備 11階機械室(1) 平面詳細図				

計16枚 表紙共

青森県 観光交流推進部観光政策課

アール・エー・ビー開発株式会社

一級建築士事務所

項目		特記事項	
空気調和設備	○14. 消音内貼り ○15. 緊急遮断弁	吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは図示による。 オイルサービスタンクに設置する緊急遮断弁は、停電時に閉じるものとする。	
	○16. 注油口及び指示ボックス ○17. カセット形ファンコイルユニット(風量分配ダクト) ○18. 温水パネルヒーター ○19. 電気パネルヒーター	○単独形 ○共用形(○油量指示計 ○ローリーアース) ※ 垂鉛鉄板 ○ 自己消火性のポリスチレンフォーム製 ○ ※ 鋼板製 ○ アルミ製 ○ (1) ケーシングはステンレス製とする。 (2) 便所に設置する場合は、いたずら防止カバー付とする。	
	●1. 準拠事項 ○2. 開放形湯沸器用排気フード ○3. 厨房用排気ダクト ○4. 厨房用排気フード ○5. 多湿箇所の排気ダクト ●6. 保温 ○7. 換気扇類 ○8. 給排気口	[空気調和設備の当該事項に準ずる。] ●ダクト ○風量測定口 ●ダンパー ○チャンパー ○塗装 ○既設 ○改設 (○別途 ○本工事) アングルフランジ工法とする。 既設 ○垂鉛鉄板 改設 ○垂鉛鉄板 ○ステンレス鋼板(SUS304) (板厚は衛生器具表空調1の厨房排気ダクトの板厚表による) 既設 材質(天幕とも) ○ステンレス鋼板(SUS304) ○ フード周囲の天幕(フード面から天井面まで) ○有 ○無 改設 材質(天幕とも) ○ステンレス鋼板(SUS304) ○ フード周囲の天幕(フード面から天井面まで) ○取り付ける ○取り付けない フードコック ○取り付ける ○取り付けない イ) 厨房系統、浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統のダクトのシールは「標準図」シールの施工例(一)、(二)のNシール+Aシール+Bシールとする。 ロ) 水抜き管 ○要 ○不要 全熱交換器(空調換気扇)の外気取入れダクト(0A)、給気ダクト(SA)及び排気ダクト(EA)は全て保温する。 換気扇類は低騒音形以上とし、有圧換気扇は保護ガード付とする。 外壁に設置するペントキャップ、ウェザーカバー等には、給気用に防虫網、排気用に防鳥網を取り付ける。	
	○1. ダクト ○2. 排煙口の形式 ○3. 排煙口の形式 ○4. 排煙風量測定方法	既設 ○垂鉛鉄板 ○普通鋼板(厚1.6mm) 改設 ○垂鉛鉄板 ○普通鋼板(厚1.6mm) 既設 ○パネル形 (○天井取付 ○壁取付) ○スリット形(○天井取付 ○壁取付) ○ダンパー形(○天井内取付 ○) 改設 ○パネル形 (○天井取付 ○壁取付) ○スリット形(○天井取付 ○壁取付) ○ダンパー形(○天井内取付 ○) 既設 ○電気式(遠隔操作 ○有 ○無) 改設 ○電気式(遠隔操作 ○要 ○不要) 排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1による耐熱・耐火ケーブルとする。 建築設備定期検査業務基準書2016年版 (一財)日本建築設備・昇降機セン[]の排煙風量の検査方法に準じる。	
自動制御設備	●1. システム構成その他 ●2. 計装用配線 ○3. 電動弁 ○4. 弁耐圧 ○5. その他	別図による。 電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1による。屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。 開閉状態の遠方表示用接点を ○設ける ○設けない。 MPa (1) 室内温湿度検出器等を2個以上併設する場合は、サーモケースを使用する。 (2) 電動機用電流計は延長目盛電流計とし、赤指針付きとする。	
	○1. 衛生器具ユニット ○2. 身障者用洗浄弁 ○3. 大便器用便座	別図による。 ※ センサー式 ○イボスイッチ式 ○くつべら式押しボタン ※ 暖房便座(○脱臭機能付 ○擬音装置付) ○普通便座 ○温水洗浄便座 加熱方式: ○貯湯式 ○瞬間式 付加機能: ※ 節電機能 ※ 脱臭機能 ○ 温風乾燥機能 ○ 擬音装置 ○ リモコン 温水洗浄便座への給水は市水を接続する。	
衛生器具設備	○4. 注記板 ○1. 量水器 ○2. 量水器樹 ●3. 弁類 ○4. 不凍水栓柱	● 設けない ○ 設ける(●陶器製 ○樹脂製) 対象器具は図示による。 既設 ○親メーター(※貸与品 ○買取り) (○現地表示式(直読式) ○遠隔表示式(○電文式 ○パルス式)) ○子メーター(○貸与品 ※買取り) (○現地表示式(直読式) ○遠隔表示式(○電文式 ○パルス式)) 改設 ○親メーター(※貸与品 ○買取り) (○現地表示式(直読式) ○遠隔表示式(○電文式 ○パルス式)) ○子メーター(○貸与品 ※買取り) (○現地表示式(直読式) ○遠隔表示式(○電文式 ○パルス式)) 既設 親メーター用 ○水道事業者指定品 ○「標準図」量水器料 子メーター用 ○水道事業者指定品 ○「標準図」量水器料 改設 親メーター用 ○水道事業者指定品 ○「標準図」量水器料 子メーター用 ○水道事業者指定品 ○「標準図」量水器料 イ) 水道直結部分 ※10K ロ) その他の部分 ※5K ハ) 呼び径65A以上の弁はパイライ弁とする ニ) ステンレス鋼管に取付ける弁類はステンレス製とする。 ※化粧ケーシング(※アルミニウム合金製 ○合成樹脂製)	
	○5. 給水栓 ●6. 保温 ○7. 小形給水ポンプユニット ○8. 水槽 ○9. 壁埋込形散水栓ボックス ○10. 引込納付金等 ●11. その他 ○1. 満水試験継手 ○2. 台所流し等の排水管 ○3. インバート樹 ○4. ため樹 ○5. 樹脂製樹 ○6. 雨水樹 ○7. グリース阻集器 ○8. 間接排水 ○9. 試験 ○10. 放流納付金等 ○11. その他	イ) 屋内(○一般水栓 ○耐寒水栓) 屋外(○耐寒水栓 ○一般水栓) ロ) 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。 ハ) 耐寒水栓はJWWAの認証品とする。 イ) 屋外露出管(弁、フランジを含む)の保温は、標準仕様書第2編3.1.4表2.3.5・e2・(ハ)とし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ) 量水器樹内の保温 ※ 行う ○ 行わない (1) 自動交互並列運転とする。 (2) 24時間強制ローテーション機能: ※付加する ○付加しない (1) FRP製イ塔Nのイ塔N天板(点検用蓋を含む) ※ 複合板 ○ 複合板としない (2) タンク接続用配管のフレキシブル継手は合成ゴム製とし、水槽用鋼製架台は溶融亜鉛めっき仕上とする。 (3) 吐水配管(受水槽)の給水用緊急遮断弁 ※ 設けない ○ 設ける (1) SUS製とし、鍵付とする。 ○要(○本工事 ※別途) ○不要 給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。 図示の位置に取り付ける。 台所流し等の床上露出部分の配管はビニル管(RF-VP)でもよい。 ※ 樹脂製樹(小口径樹) ○ コンクリート製樹: ○ 国土交通省仕様樹 ○ 頂部補強を施した市販重ね樹 ○ 日本下水道協会規格樹 ○ 樹脂製樹 ※ コンクリート製樹: ○ 国土交通省仕様樹 ○ 頂部補強を施した市販重ね樹 ○ 日本下水道協会規格樹 樹脂製樹(小口径樹)は、プラスチック・マスマンホール協会及び日本下水道協会規格に準ずる。 雨排水用ため樹は、配管エルボによるトラップ樹とする。 (1) 工場製作品で実用量が1.0m3以下のもの ※ ステンレス鋼板製 ○ FRP製 (2) 設置箇所は図示による。 次のものは間接排水とする。 ○ ○ (1) 排水管は満水試験を行い、衛生器具等の取付け完了後に通水試験を行う。 煙試験: ※ 行わない ○ 行う ○要 (○本工事 ※別途) ○不要 別途、工場製作の流しのトラップは別途工事とするが、接続は配管(硬質塩化ビニル管でもよい)とし、本工事とする。	
給湯設備	○1. 弁類 ○2. 保温 ○3. 貯湯槽 ○4. 貯湯式電気温水器 ○5. 湯水混合栓	給水設備の当該事項による。 湯沸器の給排気筒(二重管)の隠ぺい部保温を行う。 (保温の種類は標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 h・(イ)・IXとする) ステンレス鋼板製 ○ SUS304 ○ SUS304L ○ SUS316 ○ SUS316L ○ SUS444 (1) 週間タイマー: ※ 取付ける ○ 取付けない (2) 制御盤の節電機能: ○ 組み込む ○ 組み込まない 逆止弁機能: ※ 有り ○ 無し ※ シングルレバー式 ○ サーマスイト・ ○ 2バルブ式	
	○1. 屋内消火栓種別 ○2. 屋内消火栓開閉弁 ○3. 地中埋設配管の接合 ○4. 保温 ○5. 屋外消火栓ボックス ○6. その他	既設 ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 既設 ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ※10K 外周被覆鋼管の呼び径100A以下はねじ接合とする。 イ) 充水タンクの保温 既設 ○有 ○無 改設 ○要 ○不要 ロ) 消火配管の保温 既設 ○有 ○無 改設 ○要 ○不要 なお消火配管の保温は標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 給水管の項による。 ハ) 屋外露出管については給水管に準ずる。 ● ステンレス製 ○ 鋼板製 (1) 連結送水管に取付ける弁は16Kとする。 (2) その他の弁: ※ JIS10K ○ JIS20K	
ガス設備	○1. 親メーア ○2. 子メーア ○3. ガスボンベ ○4. ガス漏れ警報器 ○5. 埋設深さ ○6. 緊急遮断弁	○実測式 ○パルス式 ○貸与品 ○実測式 ○パルス式 ○買取り 貸与品(○50kg 本 イ) 集合装置 ○「標準図」液化石油ガス容器廻り配管要領による 本立て ロ) 転倒防止等 ○「標準図」液化石油ガス容器転倒防止施工要領 (○(a) ○(b)) ○容縦固定具をGL+300に追加設置する。 ○本工事(図示の箇所に取付ける)(○分離形 ○一体形) ○別工事 外部出力端子 ○有 ○無 イ) 一般敷地内 (m以上) ロ) 敷地内車両通行部分(m以上) ※ 取付けない ○ 取付ける(ガス漏れ警報機と連動して作動するものとし、系統は図示による)	
	○1. 熱調理器の熱源 ○2. 厨房機器類 ○3. 厨房システム ○4. 付属制御盤 ○5. 付属品(弁類)	既設 ○ガス ○電気 改設 ○ガス ○電気 イ) 仕様・性能等は図示による。機器の寸法は概略寸法とする。 ロ) 厨房機器据付け要領は「標準図」厨房機器据付け要領による。 ※ ドライシステム ○ ウェットシステム ○ セミドライシステム 機器付属の制御盤は、製造者規格品とする。 JISB2011:2003又はJV同等性能品 ○ 5K ※ 10K	
雨水利用設備	○1. システム構成その他 ○2. 量水器 ○3. 弁類	別図による。 ○パルス式 ○直読式 図面に特記なき場合は、JIS又はJVSとする。 ○1. 特記事項 ※ 県が別に定める仕様書による。 ○下記による (1) 処理能力 対象人員 人 BOD濃度 mg/L BOD除去率 %以上 (2) 流入負荷 汚水量 m3/日 BOD濃度 mg/L (3) 処理方式 ○小規模合併処理 (告示区分第1の処理方式及びその他同等の能力を有するもの又は建築基準法施行令第35条1項の大匠認定) ○合併処理(告示区分第2、第3、第6の処理方式) (4) 主要構造 ○ユニット形(FRP製) ○現場施工形 設置スペース 約 L x W (5) 総電気容量 相 x V x kW (6) ばっ気槽用送風機 イ) 屋外に設置する送風機はカバー付とし、コンクリート基礎上に設置する。 ロ) 送風機にはケーブル(ビニルキャブタイヤケーブル)を約 m付属する。 ハ) 送風機を2基設置する場合イCマーによる自動交互互)とする。 (7) 流入側 イ) 流入管径 設計GLー m ロ) 浄化槽本体への自然流下方式(必要場合はポンプアップ方式とする) (8) 放流側 イ) 浄化槽本体よりの自然放流可能管径 設計GLー m ロ) 浄化槽本体よりの自然放流方式(必要場合はポンプアップ方式とする) (9) 排気管及び排気かさ 構造上不要な場合は設けない。 (10) ポンプ (11) 制御盤 ○製造者標準品 ○標準仕様書による (○漏電、過負荷、満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける) (12) マンホール ○製造者標準品安全荷重(○5 ○15 ○50kN 以上とする) ○「標準図」マンホールふた(OMHB OMHA OMHD) (13) 装置耐荷重 耐荷重はマンホール安全荷重による。 (14) 土工事 イ) 基礎杭 ロ) 基礎コンクリート ハ) 根切り ニ) 埋戻し ホ) 躯体(現場施工形の場合) ヘ) 山留め ト) 水替え(自然水位GLー m) チ) 残土処分 ○要(○本工事 ○別途) ○不要 ○要	

青森県観光物産館 空気調和設備 取りこわし特記仕様書

I、工事概要

1. 工事場所 建築工事 特記仕様書による。(青森市安方1丁目1番40号)
2. 敷地面積 建築工事 特記仕様書による。
3. 建物概要

建物名称	構 造	階 数	建築基準法による 延べ面積 (㎡)	区 分	備 考
青森県観光物産館	SRC+RC	15 階	14,275.82 ㎡	取りこわし	

4. 工事種目 青森県観光物産館 11階・機械室-1、機械室-2
※ 機械設備 取りこわし一式
1) 11階・機械室（水冷式パッケージエアコン、PAC-28・PAC-31の解体撤去工事）
2) 11階・機械室-2（片吸込シロココファン、FR-28の解体撤去工事）
3) 関連風道及び配管等の解体撤去工事）

Ⅱ、工事仕様

1. 共通仕様

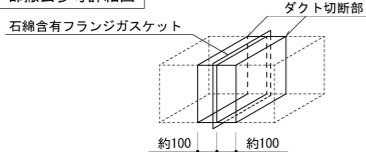
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下「改修工事標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課制定の「公共建築設備標準図（機械設備工事編）令和4年版」（以下「標準図」という。）による

2. 特記仕様

- (1) 一般共通事項 (●印のものを適用する。)

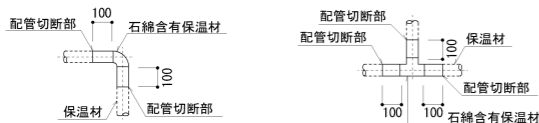
 - 官公署への手続き等 工事の着手、施工にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な手続き等を遅延なく行う。
 - 貯油槽 廃止届けとする。
 - ボイラー 廃止届けとする。
 - 給水装置 廃止届けとする。
 - 浄化槽 廃止届けとする。
 - 排水設備 廃止届けとする。
 - 昇降機 廃止届けとする。
 - 都市ガス設備 廃止届けとする。
 - 廃酸・廃アルカリ処理 吸収冷凍機、吸収冷温水機等の撤去前に臭化リチウム水溶液の抜き取りを行う。ただし、抜き取り費用は(○本工事 ○別途)とする。
 - ダイオキシン類調査 焼却炉等の撤去前に残灰よりサンプリング調査を行い、監督職員に報告する。ただし、サンプリング費用は(○本工事 ○別途)とする。
 - 廃油処理 オイルタンク、サービスタンク、油配管等は撤去前に内部清掃を行う。ただし、内部清掃、洗浄油の回収費用は(●本工事 ○別途)とする。
 - 冷媒(フロン類)の回収 冷凍機、パッケージ形空調機等の撤去に伴う冷媒回収方法は、改修標準仕様書第3編2. 4. 3により適切に行うこと。ただし、家電リサイクル対象機器は除く。冷媒回収の費用は(●本工事 ○別途)とする。
 - 家電リサイクル 対象機器は、とする。なお、冷媒回収はポンプダウン方式とする。(リサイクル料金は本工事とする。)
 - 汚泥・汚水処理 浄化槽及び排水槽内は汚泥・汚水を汲み取り、内部清掃を行う。ただし、汚泥・汚水・清掃洗浄水の回収費は(○本工事 ○別途)とする。
 - アスベスト含有製品処理 ● 本工事
ダクトフランジパッキン及び配管エルボ部保温材の処理方法は、以下による。
撤去する長方形ダクトのフランジ部、配管のエルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するため、フランジ・エルボ・チーズの前後を切断し、他のダクト・配管とは別に廃棄を行う。

ダクトフランジ部撤去参考詳細図



1. ダクトの切断に当たり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼りを行う。
2. フランジ部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3. ダクト片側の切断終了後、フランジ部内部を外面同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。
4. 切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

配管エルボ・チーズ部撤去参考詳細図



1. 配管の切断に当たり飛散防止処置として、保温材部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。
2. 保温材部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3. 切断した保温付配管は、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

石綿含有設備資材撤去リスト

[illegible]

※ ダクトフランジ部の撤去に先立ち、フランジ部 1 箇所につき 2 箇所切断する。

● 配管種別（既設配管）

	配管種別	配 管 材 料
空気調和	● 冷温水、冷却水	● 配管用炭素鋼鋼管（白）
	○ ドレン管	○ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ） ○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	○ 油	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
	○ 蒸気	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ○ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）
	○ 冷媒管	○ 冷媒用被覆鋼管
給水	○ 屋内給水管	○ 水道用亜鉛メッキ鋼管 ○ 塩ビラインニング鋼管 ○ ポリエチレン粉体ライニング鋼管
	○ 屋外給水管	○ 水道用硬質塩化ビニル管（ＶＷ） ○ ポリエチレン管 ○ 塩ビラインニング鋼管（ＶＤ）
給湯	○ 給湯管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 鋼管
排水	○ 污水管	○ 排水用鋳鉄管 ○ 塩ビラインニング鋼管 ○ 鉛管
	○ 雑排水管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
	○ 通気管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	○ 屋外排水管	○ コンクリート管 ○ ビニル管（ＶＰ）
ガス	○ 屋内ガス管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	○ 屋外ガス管	○ ガス用ポリエチレン管 ○ 配管用炭素鋼鋼管（白）

- ダクト種別 ● 亜鉛鉄板 ○ 鋼板製
 ● 保温種別 ○ ロックウール保温材 ● グラスウール保温材 ○ ポリスチレンフォーム保温材 ○ 化粧ケース（樹脂製）
 ○ 衛生器具 ○ 陶器製 ○ SUS製

Ⅲ. 取りこわし内容

- 1) 共通
- 図示された、機器・ダクト・配管の取りこわしを行う。
 - コンクリート埋設部及び土間部の配管は建物と一体に取りこわしてもよい。
 - ダクト付属品・配管付属品は、ダクト・配管と一体で取りこわしてよい。
- オイルタンク
- オイルタンク本体は、掘り起こし撤去とする。
 - オイルタンクの用途廃止に係る安全管理指針に基づき撤去する。
 - オイルタンク掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。
- 浄化槽
- 浄化槽掘り起こしに伴う掘削工法は、法付け工法とする。
 - 浄化槽掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。
- 屋外設備
- 配管土工事は本工事とし、掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。
 - 屋外給水配管の埋設深さは600Hとする。
 - 屋外ガス配管の埋設深さは600Hとする。
 - 樹掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。
 - 給水装置 ○ 本管にて閉栓とする。 ○ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。
 - 排水設備 ○ 本管にて閉止とする。 ○ 公設樹にてキャップ止めとする。
 - 都市ガス設備 ○ 本管にて閉栓とする。 ○ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

● 取りこわし機器表

[illegible]

※ 機器内部にアスベスト等含有している可能性がある機器は製造メーカーに確認し、監督職員に報告する。

DRAWING	機械設備工事 取りこわし特記仕様書	SCALE	A1/A3 No-Scale
PROJECT	青森県観光物産館 空気調和設備改修工事 (11階)	DATE	2025/07
アール・エー・ピー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No.	M-03

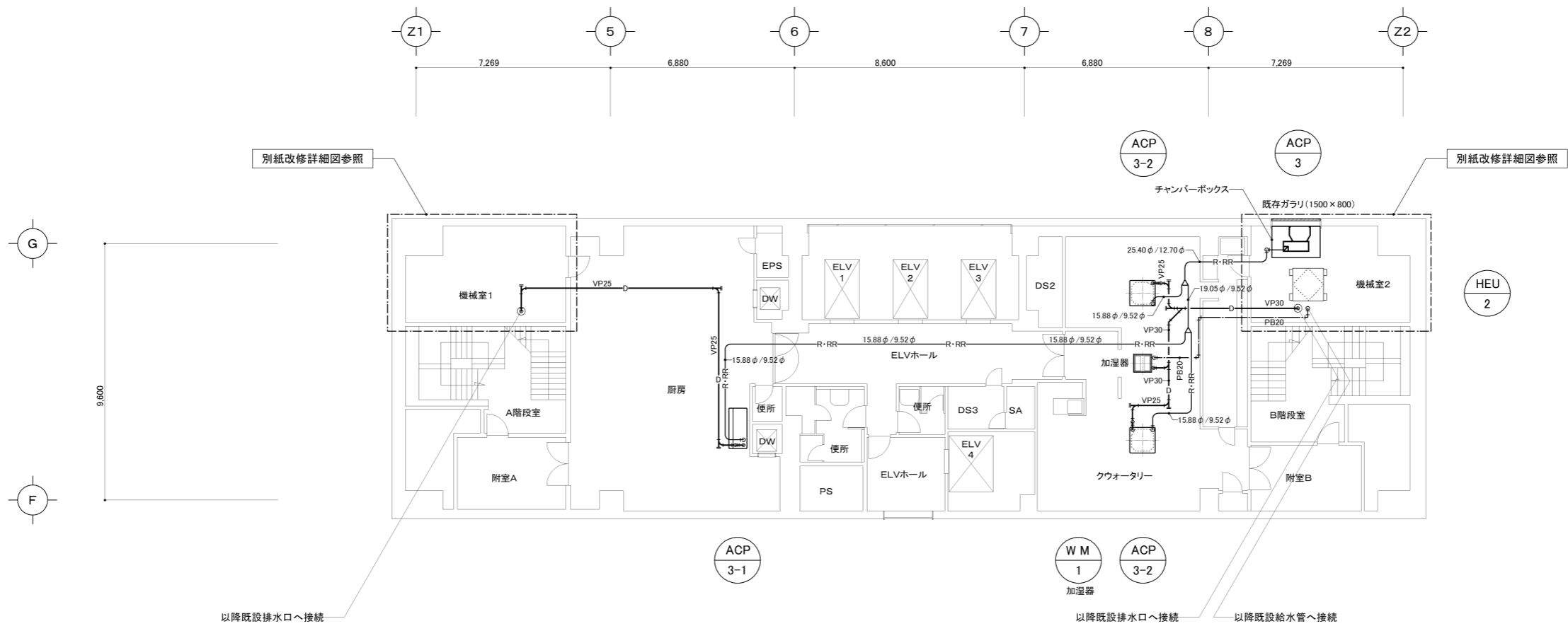
空 調 設 備 機 器 表

[illegible]

換氣設備機器表

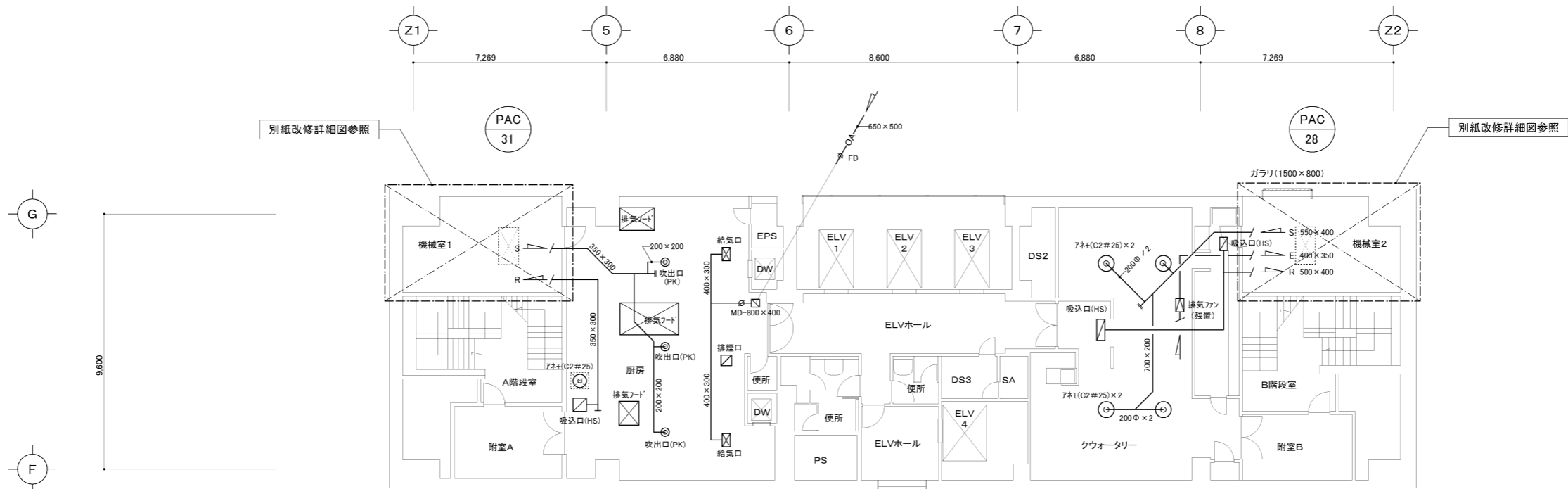
[illegible]

DRAWING	空調・換気設備 機器仕様表	SCALE	No Scale
PROJECT	青森県観光物産館空調設備改修工事 (10階・11階)	DATE	2025/07
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No. M-05	



(改修後)
11階 平面図 1/100

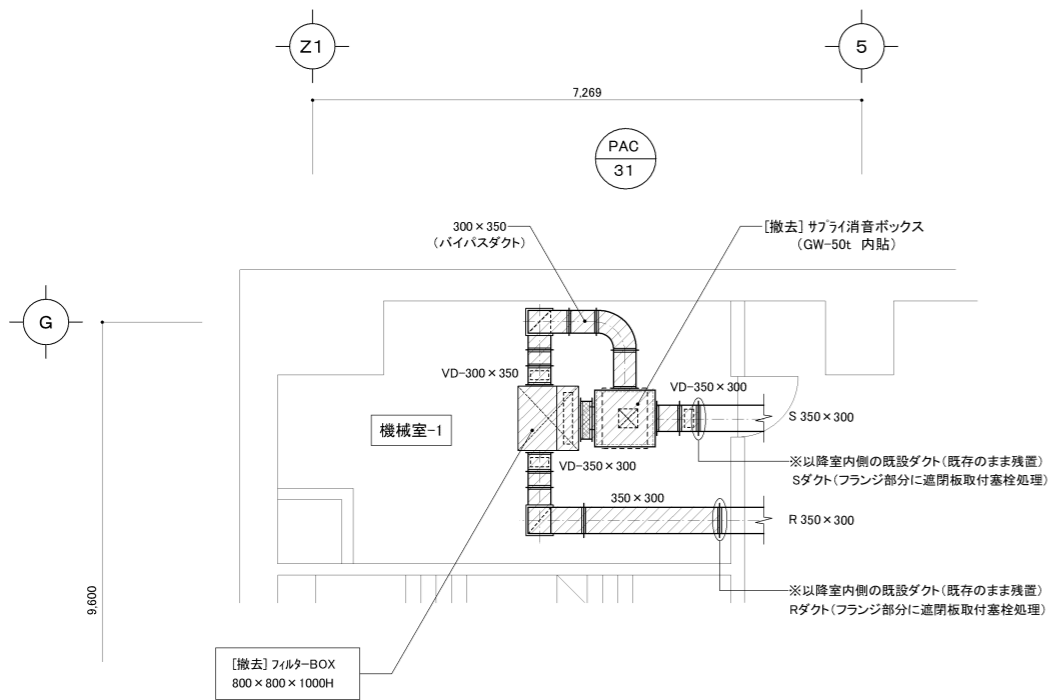
※ 特記事項
1)、エアコン室内機、吹出ユニット、加湿器取付部分の天井開口及び補強工事は建築工事とする。
2)、てんまい加湿器用ドレン配管の立上り部分はVP13とする。
3)、屋内ドレン配管は防露処理施工 (GW-25c)とする。



※ 凡 例
吹出口設置位置を表示
吸込口設置位置を表示

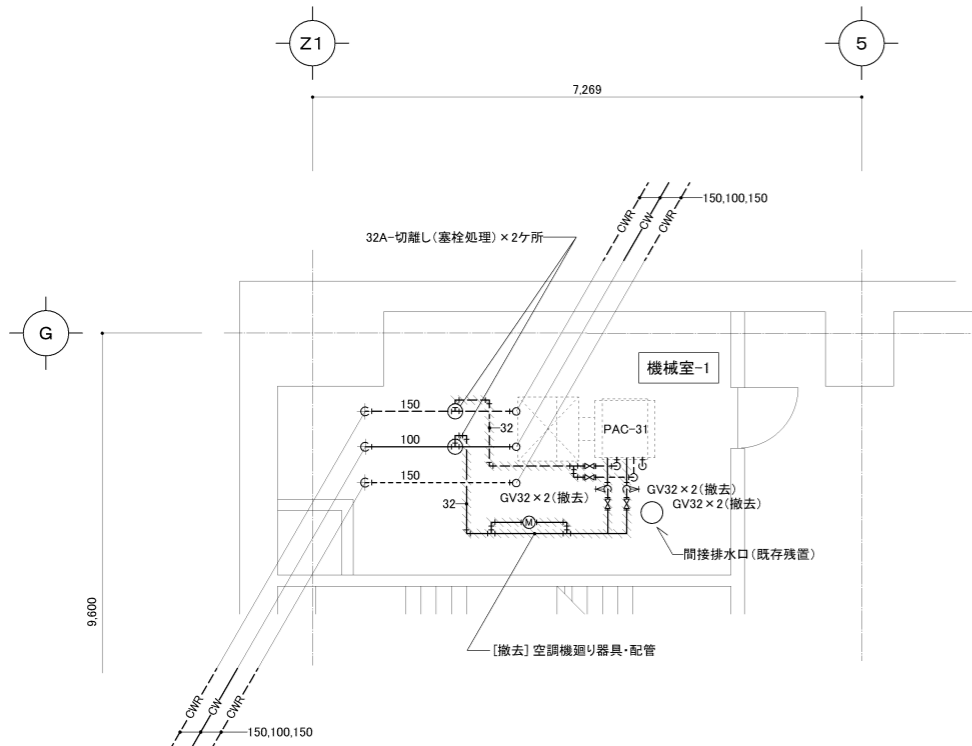
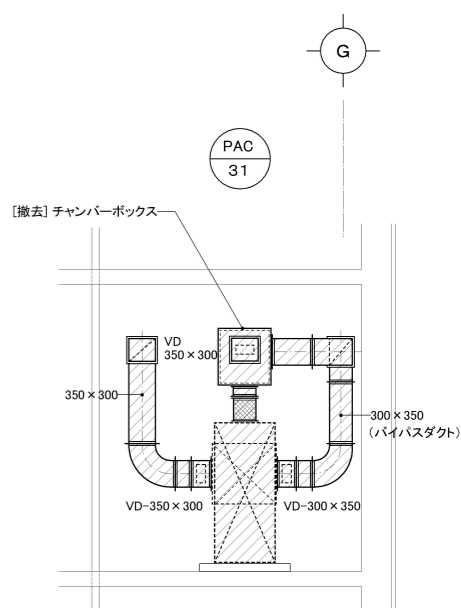
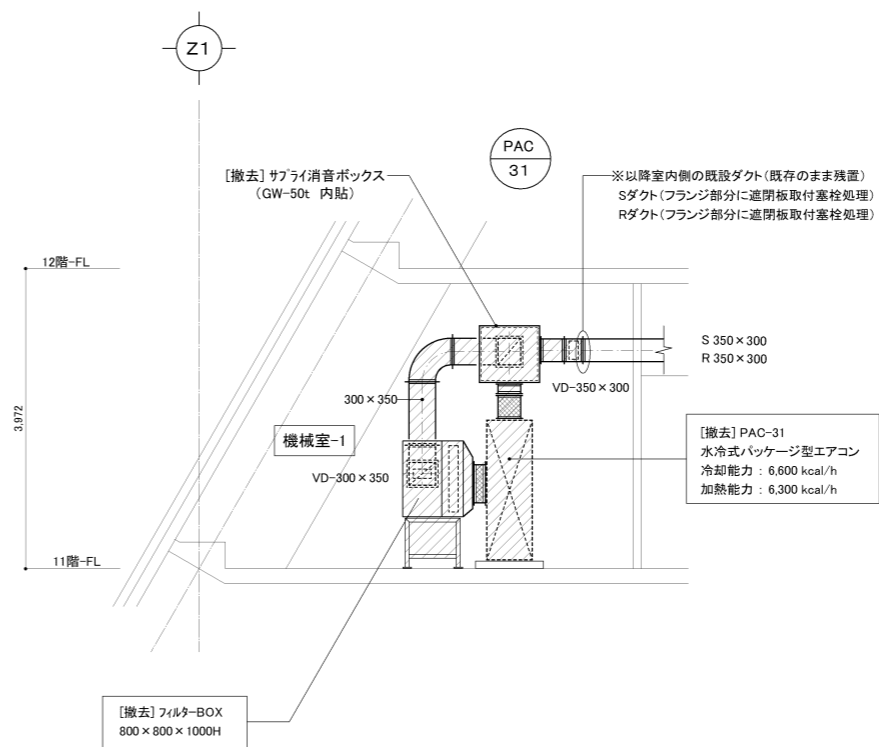
(改修前)
11階 平面図 1/100

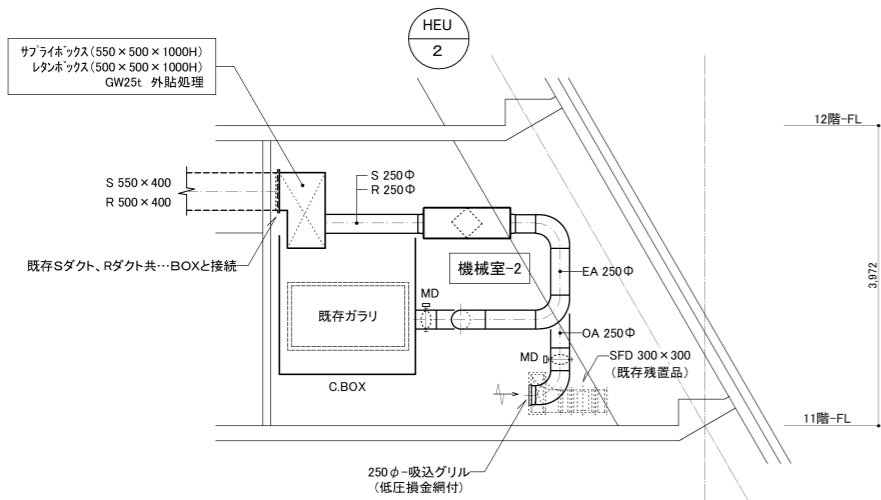
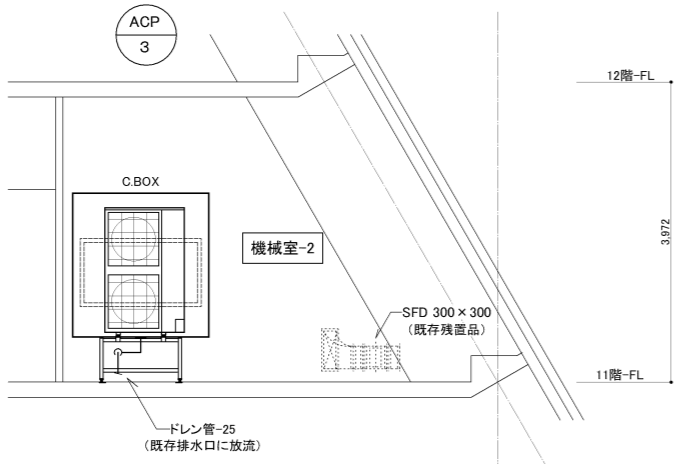
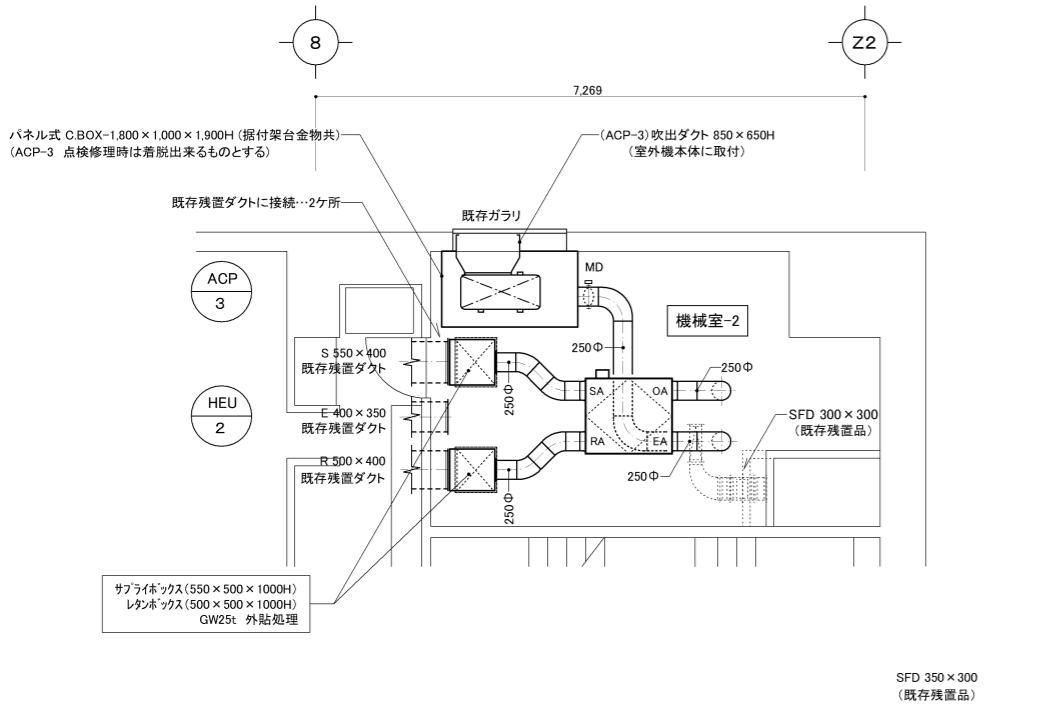
※ 特記事項
1)、室内側サライダクト、レタンダクトは現状のまま再使用とする。
2)、既設の空調用吹出口及び吸込口は換気用として現状のまま再使用とする。
3)、既設の排気ファン、排気ダクト、給気ダクトの系統は現状のまま再使用とする。



PAC-31 〔撤去〕
水冷式パッケージ型エアコン
冷却能力 : 66.00 kcal/h
加熱能力 : 6,300 kcal/h

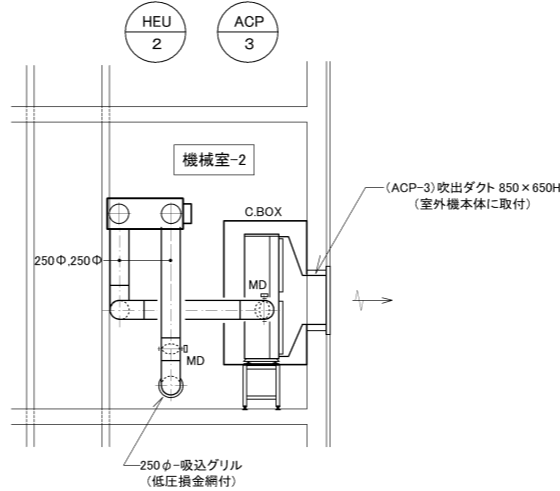
※ 参考 (5WL1)
機器外形寸法 1,400 x 750 x 1,850H
機器重量 430 kg





- ※ 特記留意事項
- 1)、図示 C-BOX寸法は参考とし、施工時設置空調室外機の修理点検スペース等を考慮し制作すること。
 - 2)、C-BOX仕様は他の各階機械室設置を参考とし、制作すること。

11階 機械室 2 [新設] 詳細図 S=1/50

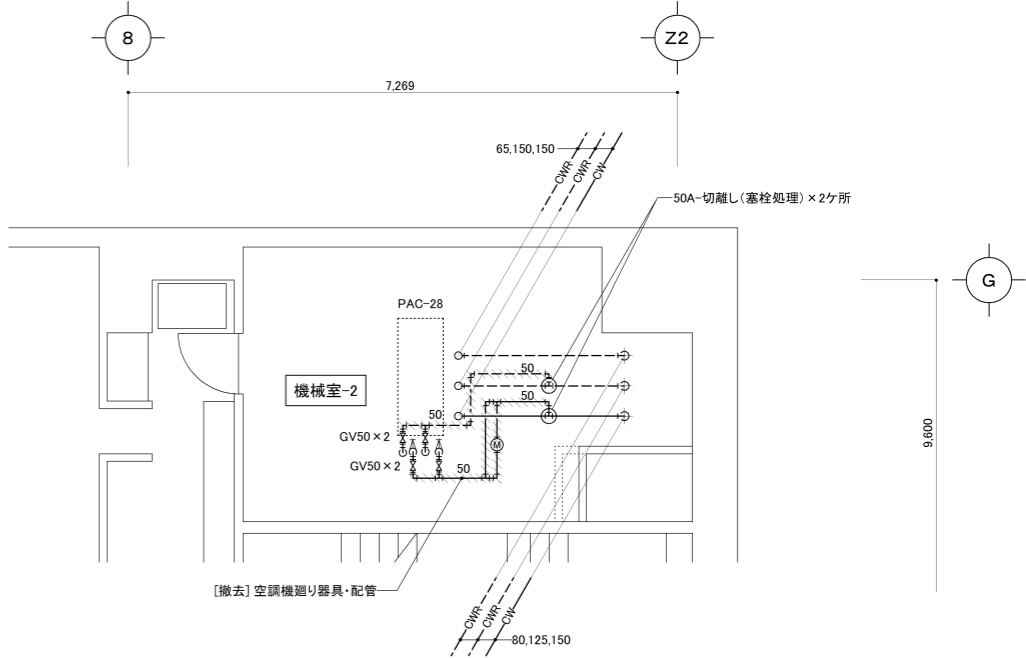
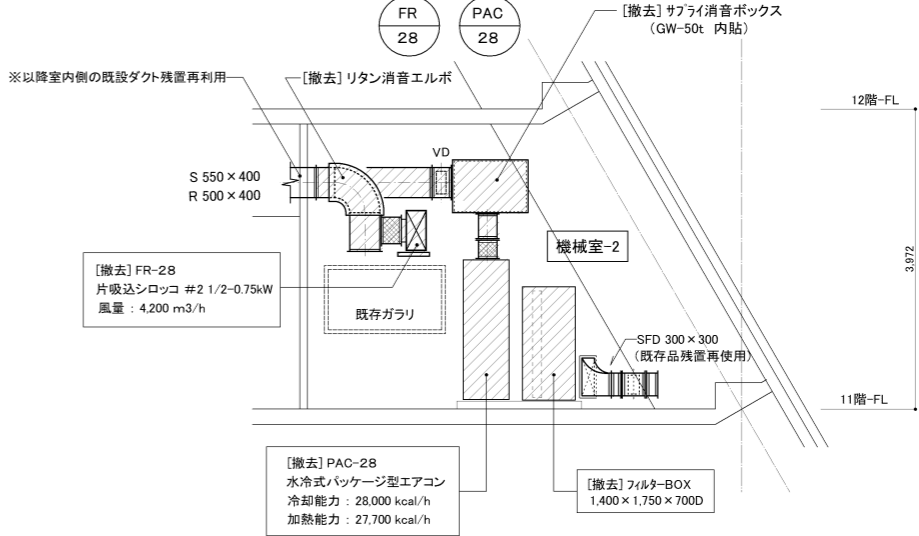
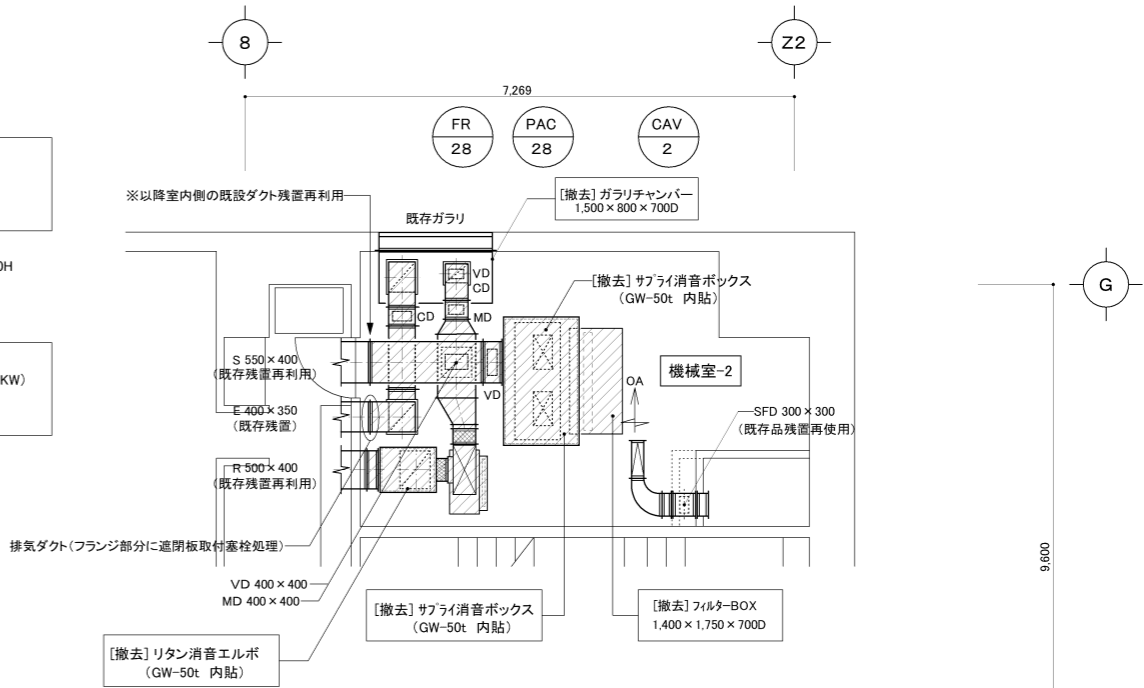


PAC-28 [撤去]
水冷式パッケージ型エアコン
冷却能力：28,000 kcal/h
加熱能力：27,700 kcal/h

※ 参考 (10WL1-S)
機器外形寸法 1,600 x 750 x 1,850H
機器重量 430 kg

FR-28 [撤去]
片吸込シロッコ (#2 1/2 x 0.75KW)
風量：4,200 m³/h

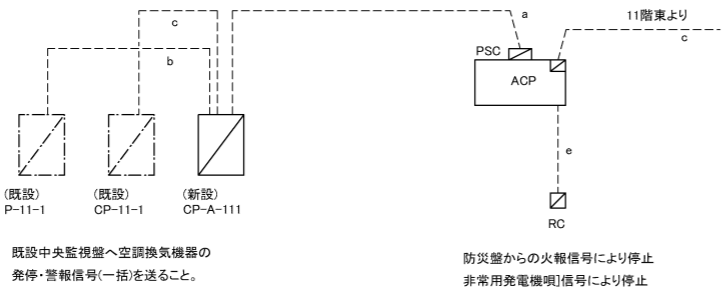
※ 参考
機器外形寸法 580 x 380 x 375H
機器重量 20 kg



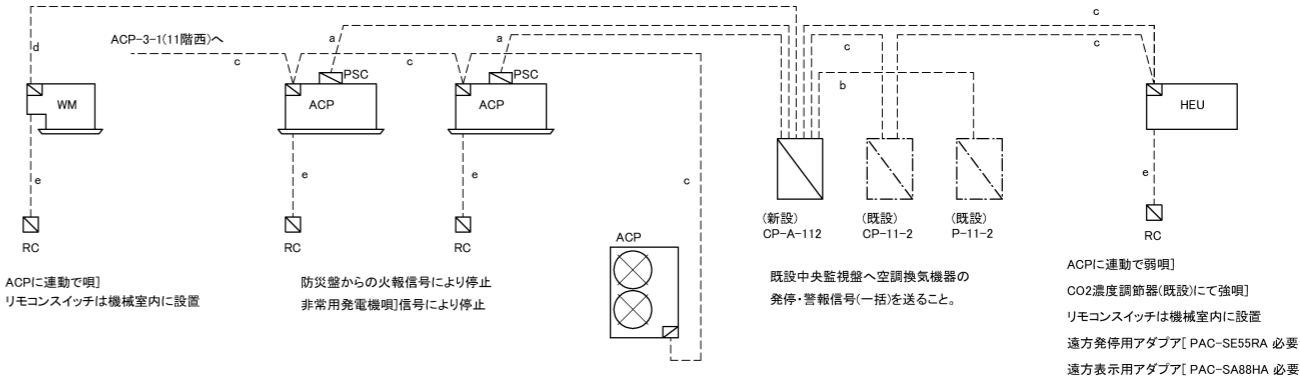
11階 機械室 2 [撤去・移設] 詳細図 S=1/50

配管 撤去部分を示す。

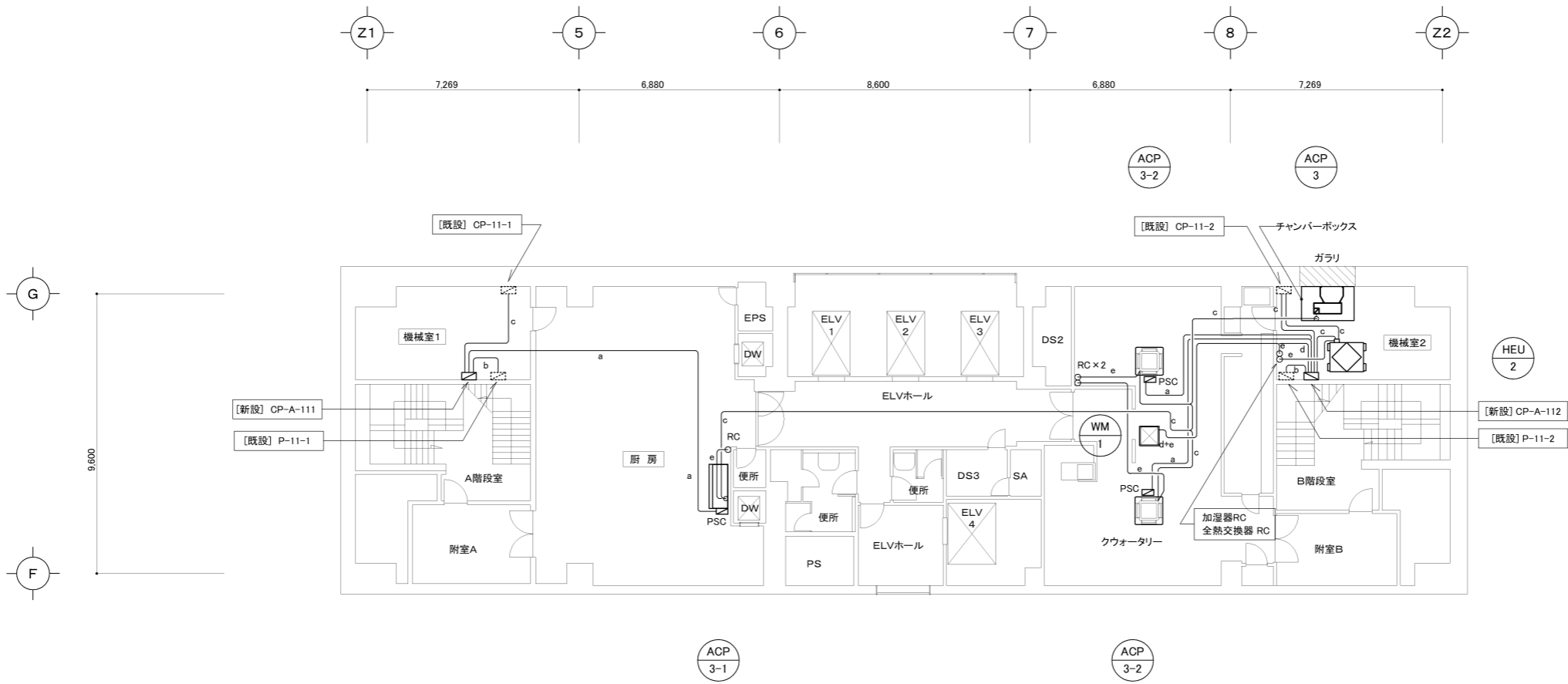
DRAWING	空調換気設備 11階 機械室(2) 平面詳細図	SCALE	1:50 (A1) 1:100 (A3)
PROJECT	青森県観光物産館空調設備改修工事	DATE	2025/07
アール・イー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第233481号 山内 剛男			DRAWING No. M-08



11階西側 計装系統図



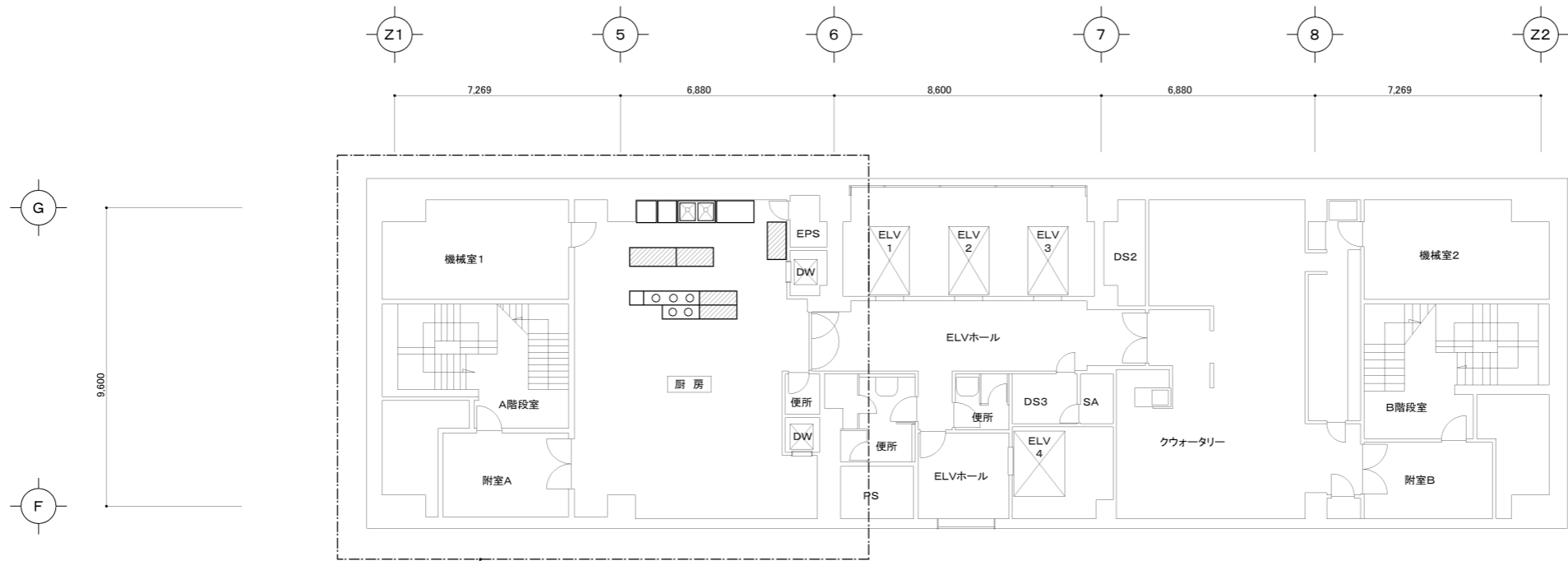
11階東側 計装系統図



11階 平面図 1/100

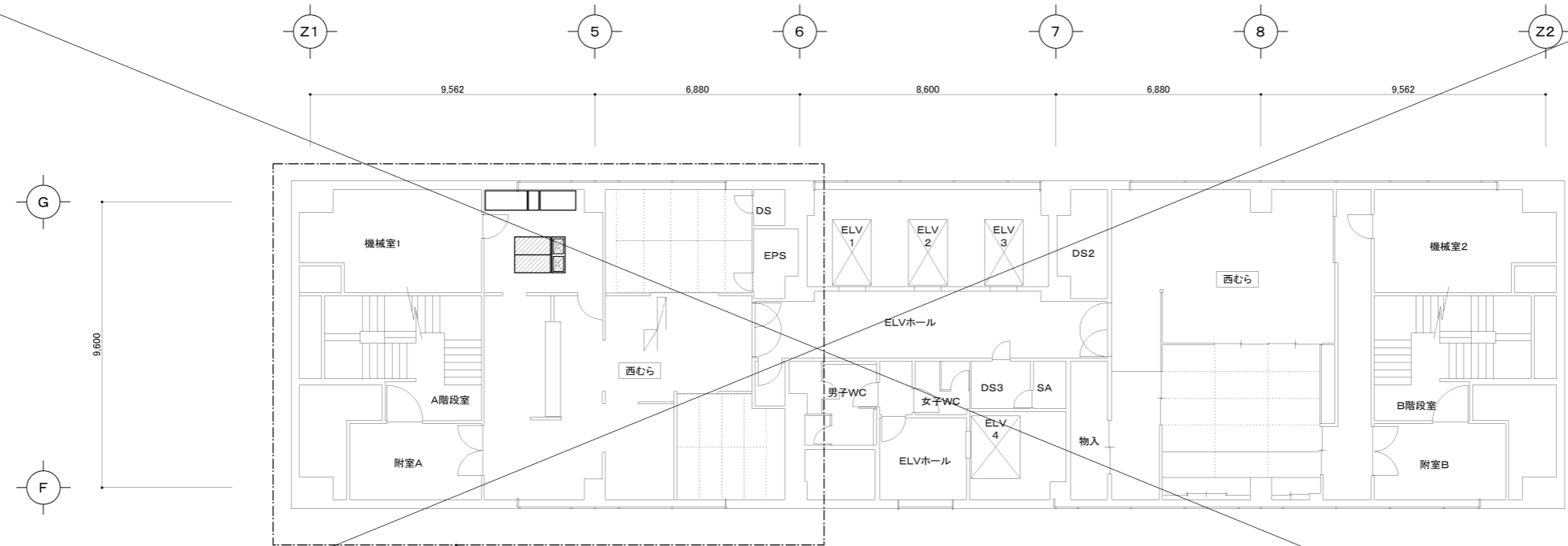
凡 例		
記号	配 線	備 考
a	EM-CEES 1.25sq-6C	
b	EM-CEES 1.25sq-8C	
c	EM-CEES 1.25sq-2C	
d	EM-CPEE 0.9mm-1P	
e	EM-MEES 0.75sq-2C	

※ 天井内はケーブル配線とする。露出部は電線管類で保護する。



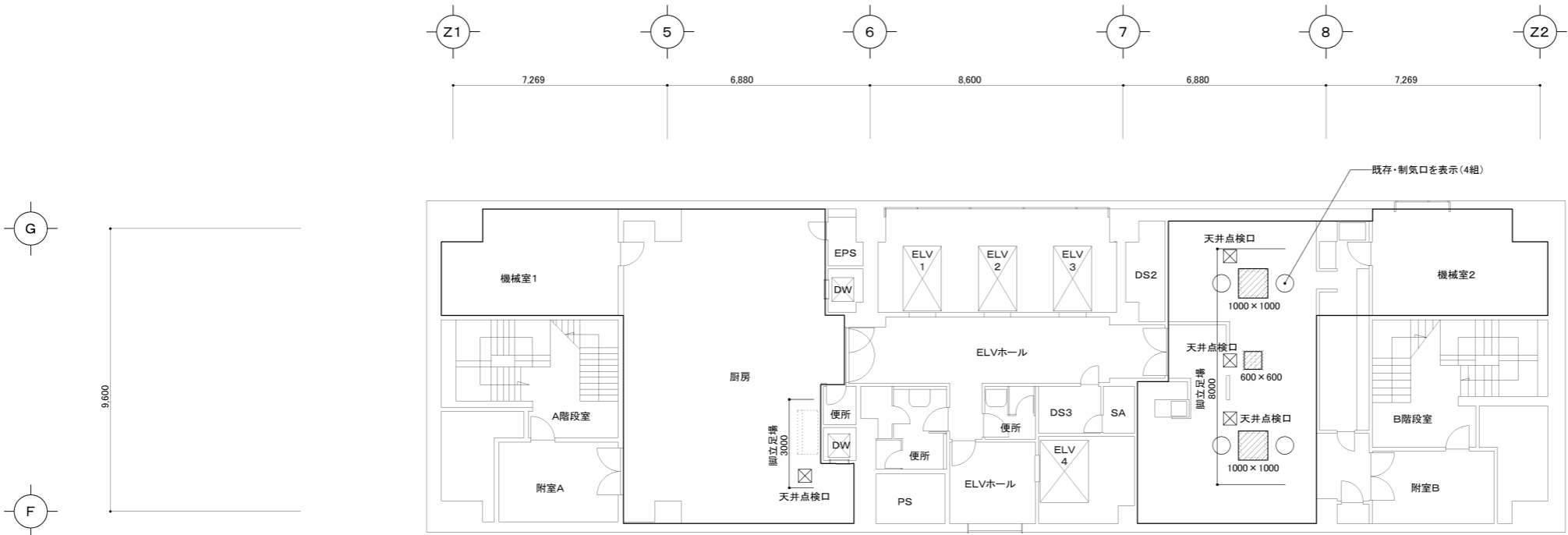
※ 本工事改修にあたり機械室内、既存機器及び新設機器の搬出、搬入作業に関連し
斜線記載厨房機器等を店舗側と協議のうえ搬出、搬入に支障がない範囲で移動を行うこと。
搬出、搬入作業終了後、移動機器類は現状復帰とする。

11階 平面図 1/100

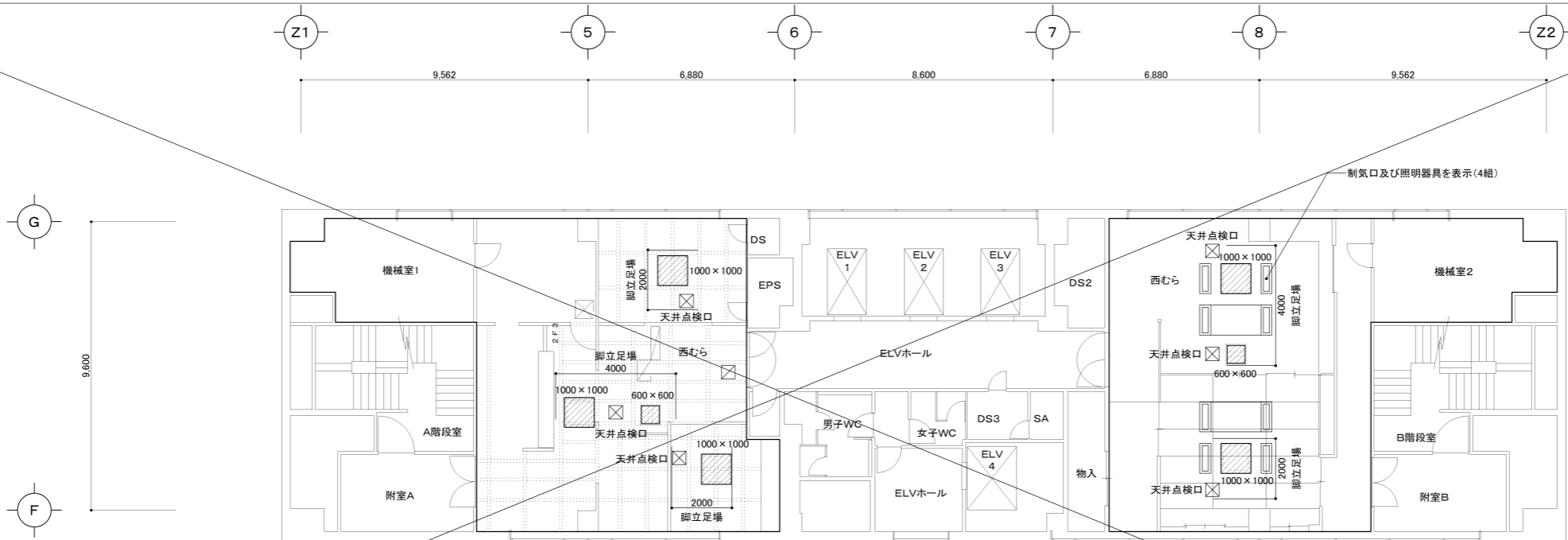


※ 本工事改修にあたり機械室内、既存機器及び新設機器の搬出、搬入作業に関連し
斜線記載厨房機器等を店舗側と協議のうえ搬出、搬入に支障がない範囲で移動を行うこと。
搬出、搬入作業終了後、移動機器類は現状復帰とする。

10階 平面図 1/100

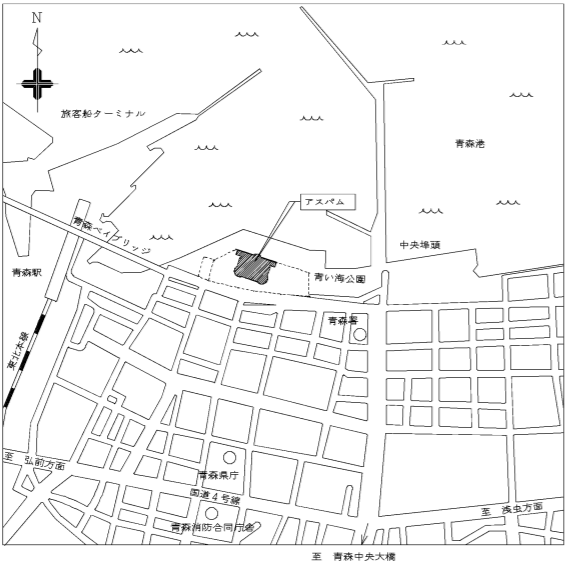


- ☒ 天井点検口取付位置を表示(450×450)
- ▨ 天井開口補強位置を表示(1000×1000)…空調機器用
- 天井開口補強位置を表示(600×600)…てんまい加湿器用

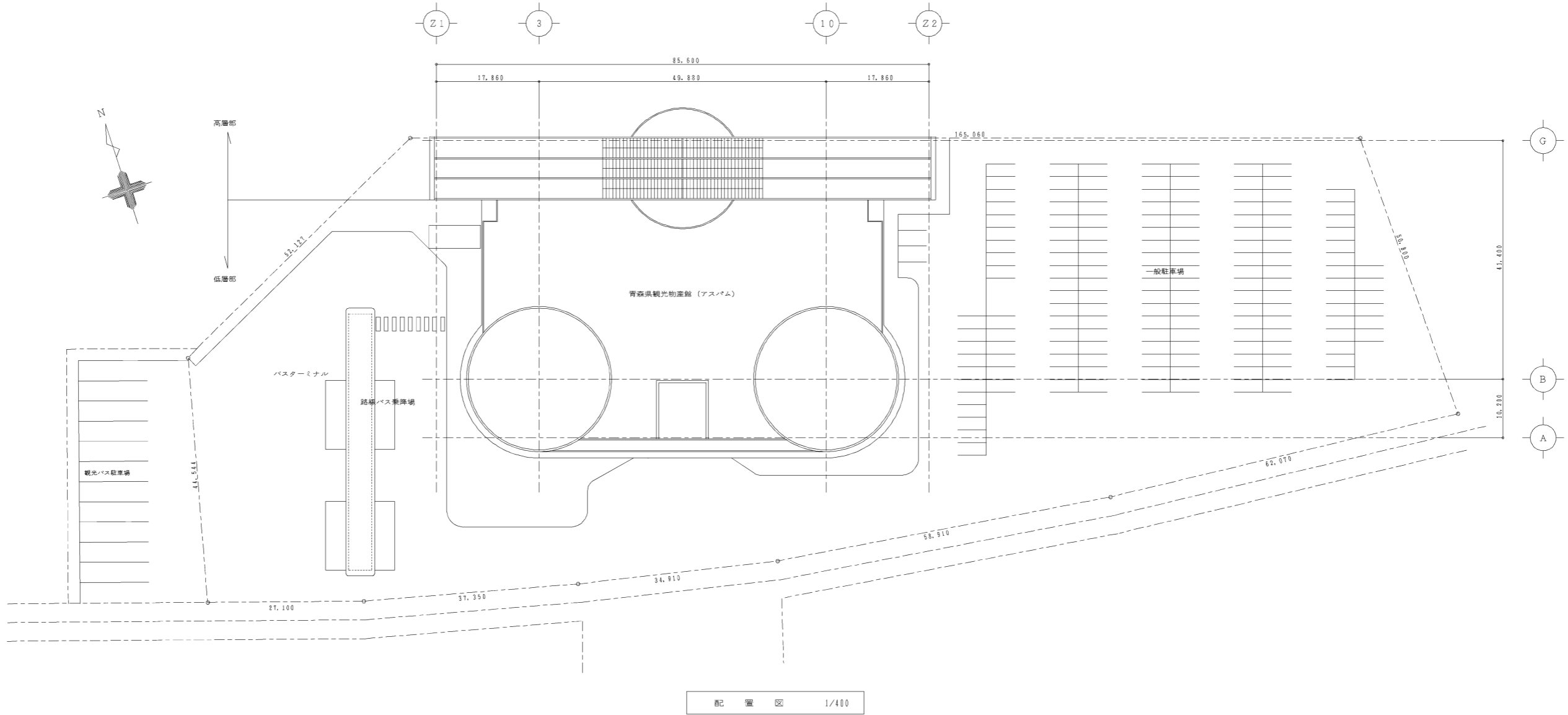


- ☒ 天井点検口取付位置を表示(450×450)
- ▨ 天井開口補強位置を表示(1000×1000)…空調機器用
- 天井開口補強位置を表示(600×600)…てんまい加湿器用

工 事 区 分 表（他工事との取合い等）							区分は○印を適用する							A 建築工事 E 電気設備工事 M 機械設備工事 EV エレベーター設備工事							※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する																															
		項 目		A	E	M	EV		備 考				項 目		A	E	M	EV		備 考				項 目		A	E	M	EV		備 考																					
躯体関係 RC造（梁・壁・床） の貫通孔・開口部	係	貫通スリーブ		○	○	○	○				その他	トラフ・ビット類（ふたを含む）		○							事務室廻り	フリーアクセスフロアパネル切込み加工		○							自家発電設備	自家発電装置			○																	
		貫通スリーブの補強		○								RC造各種ビット		○									フリーアクセスフロア給排気グリル		○										発電装置 基礎		○															
		開口部の型枠・補強		○								同上用マンホール・タラップ		○										フリーアクセスフロアコンセント			○									トレンチ		○														
		貫通スリーブ・開口部の墨出し		○	○	○	○					排水溝		○											壁・天井空調給排気グリル				○								トレンチ用 蓋		○													
		貫通スリーブ・型枠部の穴埋め		○	○	○	○					オイルサーピスタンの防油堤		○																						主燃料槽（充填砂共）			○													
												フリーアクセスフロア内の防水堤		○																							主燃料槽用 基礎、外郭工事（充填砂共）		○													
												設備室内床排水管					○																				同上杭及び杭頭処理		○													
S・SRC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	鉄骨貫通鋼管スリーブ	貫通スリーブ		○	○	○	○				仕 上 関 係	既設埋設配管配線調査（X線探査含む）		○	○	○						その他	感知器連動防火戸のレリーズ用切込み		○							燃料小出槽	燃料小出槽 基礎		○																	
		貫通スリーブの補強		○								ボード類の切り込み		○										消火器ボックス		○											防油堤		○													
		開口部の型枠・補強		○								下地材の切込み・補強		○											表面仕上が必要な全熱交換機等の表面仕上		○											M・E用含む		○												
		貫通スリーブ・開口部の墨出し		○	○	○	○					開口部の墨だし		○	○	○	○									駆動装置が電動の建具類の1次電源、1次・2次配管、及び手元電源スイッチ			○									レールヒータ用の手元スイッチを含む		○												
		貫通スリーブ・型枠部の穴埋め		○	○	○	○																			同上本体・駆動装置・検出装置（センサー）		○											給油口ボックス 基礎		○											
		予備スリーブの穴埋め		○	○	○	○																			駆動装置が電動のブラインド・排煙オペレーター等の1次配線及び1次・2次配管			○										屋外トレンチ		○											
																										同上本体・操作スイッチ及び2次配線		○											屋外トレンチ用 蓋		○											
設備機器の基礎	機器取り付け用アンカー・架台	基礎		○							可動間仕切	切込み・補強		○								屋 外 関 係	映像音響設備のある室で操作卓にスイッチを組み込む電動フラインド			○							電動スクリーン及びボックス	電動スクリーン及びボックス			○															
												各種ボックス類		○	○	○									電気錠及び扉～栓通電金具及び2次配線		○										電気錠及び扉～栓通電金具及び2次配線		○													
																									同上用1次配線及び1次・2次配管			○																								
																										避雷導体の接続			○																							
																										笠木を棟上げ導体とした場合の笠木～笠木の接続		○																								
																										ルーフトレン及びびたてどい		○																								
																										煙突の水抜き管（排水管）		○																								
エレベーター関係	機械室・昇降路の躯体	機械室の床開口		○							吊りボルト及びインサート	設備機器類用			○	○						給排気関係	地震感知器の配管配線				○						防煙ドレンと連動制御器までの配管配線及び連動制御室から煙感知器までの配管配線		○																	
		機械室の床配管ビット・蓋		○																					外壁ガラリ		○																									
		機械室の上げ床コンクリート打設・仕上		○																						防風板		○																								
		機械室内換気設備					○																				ウェザーカバー・ベントキャップ				○																					
		巻上機周囲のチェッカープレート敷					○																				排気フード（標準詳細図によるステンレス製）		○																							
		昇降路内ビット防水		○																							排気フード（レンジフード等既製品）					○																				
		ビット点検タラップ					○																																													
エレベーター関係	機械室・昇降路の躯体	各階出入口穴あけ・同補強		○							水廻り機器											オイルタンク廻り	雨水排水設備		○								ユニット型浄化槽	ビット型の躯体及び砂充填		○							上記以外のユニット型浄化槽本体配管及び据付等（充填砂共）			○						
		三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補強					○																			ハンドホール				○																						
		出入口扉・三方枠及び幕板					○																			E・M側で充填用マンホールふたを使用した場合の表面仕上		○																								
		昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材		○																						雨水利用設備（ルーフトレン、縦樋はA、横樋はB、横樋から集水溝までM）		○		○																						
		昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支柱柱、他昇降路内の調整部一式					○																																													
		昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けベース		○																																																
		機械室天井・昇降路内のフック取付		○																																																
		昇降機用吊りフック（必要な場合、建築工事に支給）					○																																													
		ホール押釦・インジケータなどの壁開口		○																																																
		昇降路内頂部煙感知器熱感知器設備工事			○																																															
		ビット内点検用コンセント設備工事			○																																															
		EV制御盤までの動力・照明用電源、アース、防災信号、伝声設備（館内放送用）配管・配線工事			○																																															
		EV制御盤からエレベーター内監視カメラまでの配管・配線工事					○		監視カメラ含む																																											
		EV制御盤から監視カメラ用の監視装置までの配管・配線工事			○				電気設備のモニタ装置に映像を表示する場合																																											
		EV制御盤からEV監視盤又は警報盤までの制御及びインターホンの配管・配線工事					○																																													
EV制御盤又はEV監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）の配管工事			○																																																	
EV制御盤又はEV監視盤までの緊急地震速受信用の配管工事			○																																																	
動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事					○																																															
																											</																									

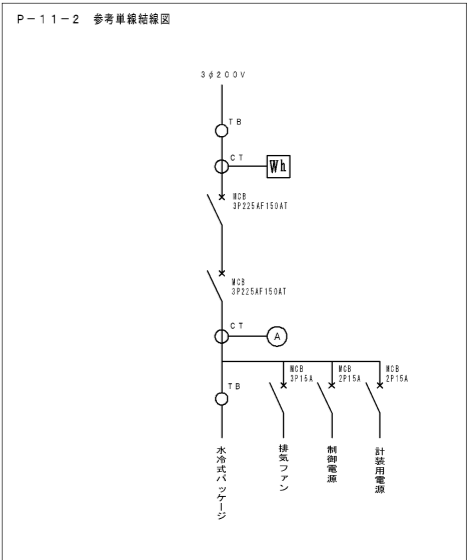
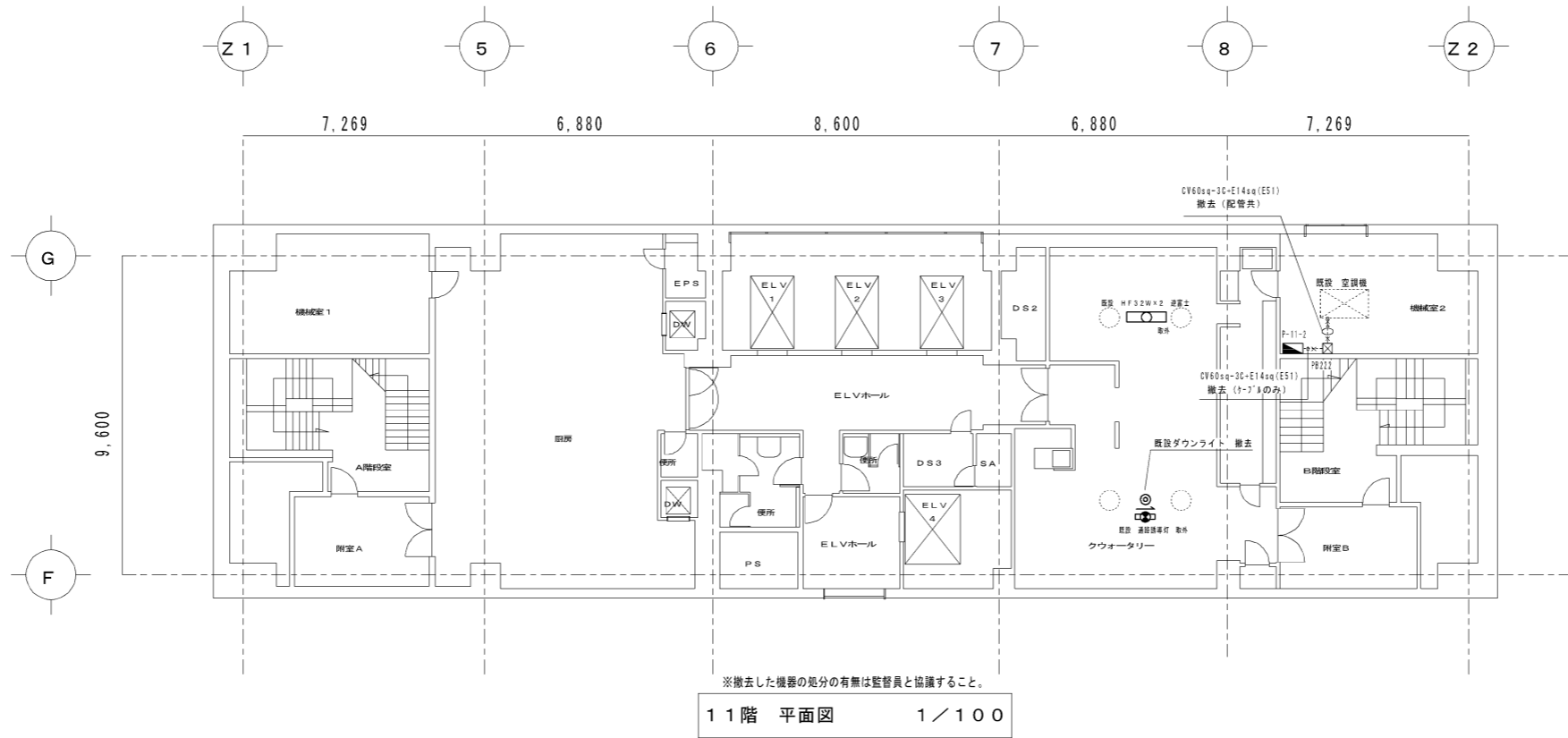


案内図

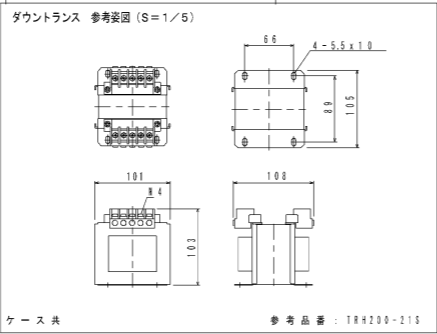
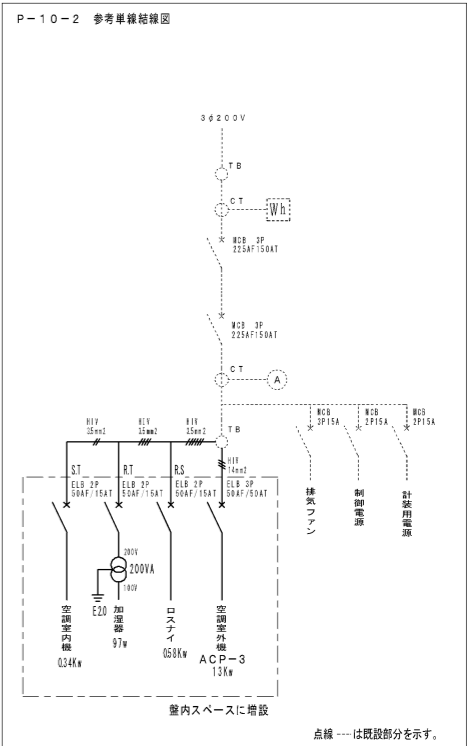
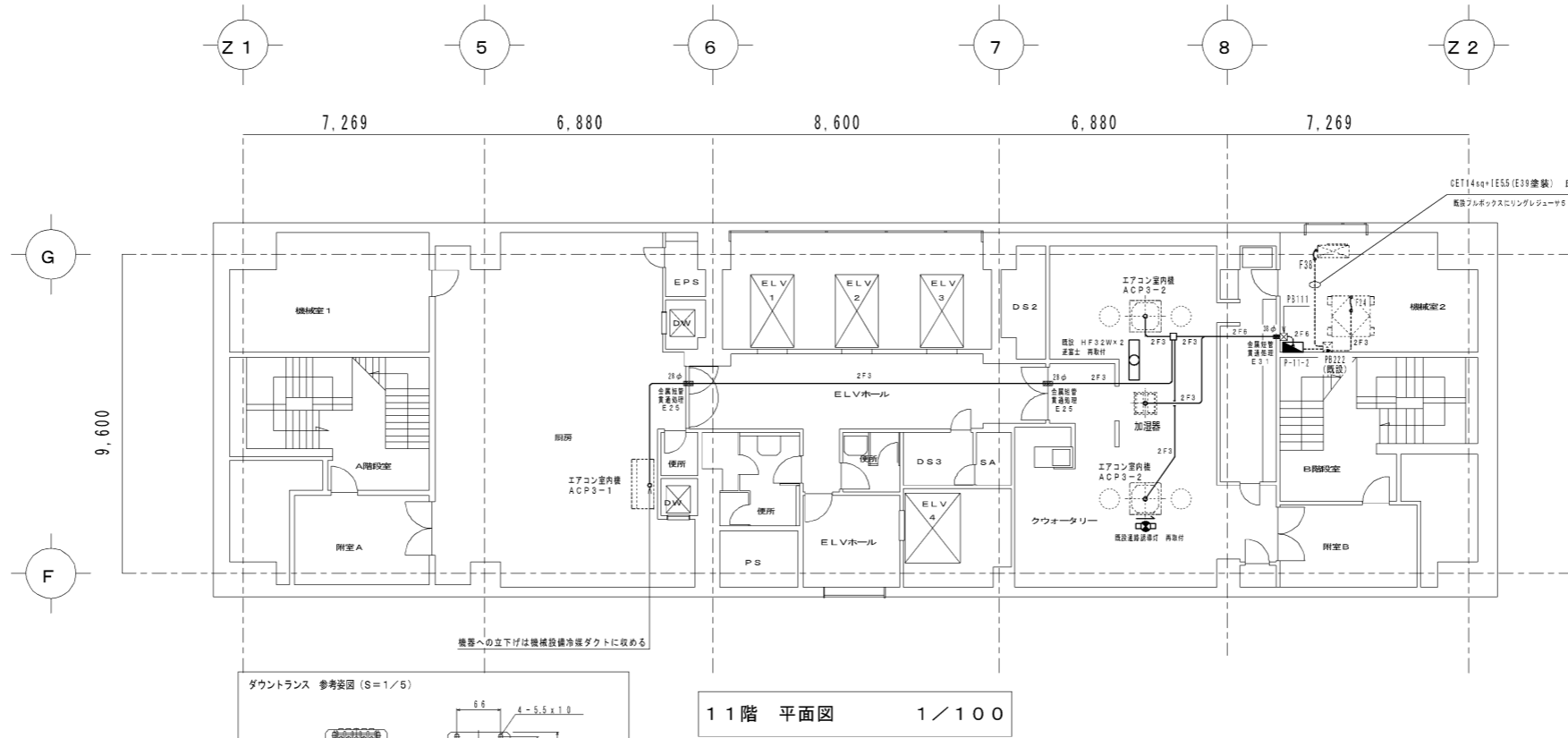


配置図 1/400

改 修 前



改 修 後



機器凡例 (図中、特記なき記号は下記による)		
記号	規格・品名	備 考
	既設 動力盤 (名称は図示)	
	フルボックス 鋼板製 (サイズは図示)	
	アウトレットボックス 中深 樹脂製 P共	
	壁 機械はつり (サイズは図示)	
	空調機器各種 (機械設備工事)	
防火区画及び防災区画部分の貫通は防火区画貫通処理を施す事。		
フルボックスのPB□□□は、W=□×100mm、H=□×100mm、D=□×100mmを示す		

配線凡例 (図中、特記なき記号は下記による)		
記号	規格・品名	保護管
	EM-EF2.0mm-3C x 2	E31
	EM-EF2.0mm-3C	E25
	金属製可とう電線管 (サイズは図示)	
露出配管 (電線管サイズは図示または保護管による)		
天井ころがし		
露出配管は塗装すること。		